

「研究データの図書館」からの 23 のアドバイス

ライブラリアンシップの実践で研究データ管理をするために、即座に使える実践的無料オンラインリソースとツールの概要

障壁なきデータの共有 (Research Data Sharing Without Barriers)

学習リソース

図書館員は研究データに関連したソリューション、そして新たなサービス提供のために、図書館学の原理をいかに応用するかを学んでいます

1. LIBER から研究データ管理を始めようとしている図書館へのアドバイス「トップ・テン」
<http://bit.ly/RDAthing1>
2. 関連するコンセプトが e-Science Thesaurus に紹介・解説されています
<http://bit.ly/RDAthing2>
3. 研究データのライフサイクルについては DCC Curation Lifecycle Model をご覧ください
<http://bit.ly/RDAthing3>
4. 図書館員のための ANTRA オンライン・トレーニング・モジュールをご活用ください
<http://bit.ly/RDAthing4>
5. 最新文献は、Digital Curation Bibliography をご覧ください
<http://bit.ly/RDAthing5>
6. 利用者がデータについてより深く学べるよう、図書館員が作った数々のリソースガイドのサンプルが SpringShare LibGuide Community Site にあります
<http://bit.ly/RDAthing6>

図書館員が研究データに携わるのを手助けするための 学習リソース

データレファレンスとアウトリーチ
データ管理計画
データリテラシー
メタデータ
データ引用
データライセンスとプライバシー
デジタル保存
データレポジトリ
実践コミュニティ

データレファレンスとアウトリーチ

図書館員は、利用者から寄せられたデータに関する質問に対する回答や、研究者や学生のデータニーズについて調べるためのアウトリーチを行っています

7. Conducting a Data Interview を用いて、研究者とデータに関する対話を始めましょう
<http://bit.ly/RDAthing7>
8. Data Curation Profile を読んだり、また独自の Profile を作成して、研究者のニーズについてもっと学びましょう
<http://bit.ly/RDAthing8>
9. DataOne Librarian Outreach Kit のような図書館員を助ける材料を開発しましょう
<http://bit.ly/RDAthing9>

10. DataQ フォーラムでは、専門家がデータに関する質問に回答しています。
<http://bit.ly/RDAthing10>

データ管理計画

図書館員は資金提供者の必要条件について理解を深め、効果的なデータ管理計画を作成し、実施するために、研究者に意見を聞いています

11. 米国内の資金提供機関の必要条件がリストしており、研究者に一連の質問に答えてもらうことで計画を立てる、DMPTool が例として挙げられます。イギリスやカナダなどの他国にも同様のツールが存在します
<http://bit.ly/RDAthing11>

データリテラシー

図書館員は情報リテラシー教育に「データ」を組み入れ、利用者にとっていつデータが必要になるのか、また利用者がデータを見つけ、評価し、使用する能力がいつ必要になるのかを知る手助けをしています

12. データ・情報リテラシー・プロジェクト (The Data Information Literacy project) とその本によって、図書館員や他の教員が、情報リテラシーのアウトリーチやインストラクションにデータを組み込むのを手助けするカリキュラムが開発されました。
<http://bit.ly/RDAthing12>

メタデータ

図書館員は研究データの整理、分類、及び記述の手伝いをしています。また、デ

ータがより見つけられやすく、理解されやすく、また保存されやすくするために、メタデータのスタンダードを開発しています

13. **Metadata Standards Directory** を用いて、メタデータのフォーマットを推奨または適用するにあたり、どのフォーマットが適切かつ標準的かを決めましょう

<http://bit.ly/RDAthing13>

データの引用

図書館員は、データ引用を推奨したり可能にしたりすることで、データ研究を促進する手助けをしています。例えば、データセットに識別子を付与したり、ドキュメントとデータ間のリンクをつくらせたり、利用者が適切にデータ作成者を引用できるようにしています。

14. **DataCite** は、利用者が出典を示せるように、研究者がデータセットを引用可能な状態にするのに役立つリソースを持っています。また、データセットのデジタルオブジェクト識別子(DOIs)を発行することにより、インパクトの測定を始めるためのリソースも持っています

<http://bit.ly/RDAthing14>

データライセンスとプライバシー

図書館員は、研究者が被験者やその他のセンシティブなデータを保護しながら、適当なライセンスを用いてデータを共有する手伝いをしています

15. **デジタルキュレーションセンターの How to License Research Data** (「研究データのライセンス方法」) は、図書館員が研究者に協力して共有データのライセンスを選択する際の助手となります

<http://bit.ly/RDAthing15>

16. **JISC** は、センシティブなデータに関連する問題のディスカッションをしている **DATA-PROTECTION email list** を管理しています

<http://bit.ly/RDAthing16>

デジタル保存

五年、二十年、五十年、百年、それよりもっと長く、データコレクションがアクセス可能かつ利用可能であることを保証するためのインフラストラクチャーと慣行を開発、及び実装するために、図書館員はアーキビストと協力しています

17. **Open Archival Information System (OAIS)** のレファレンスモデルや、**ISO 16363**、**Data Seal of Approval** などの信頼できるデジタルレポジトリ・サーティフィケーションを用いて、デジタルアーカイブに関する語彙とスタンダードを理解しましょう

18. **COPT** を用いてデジタル保存のためのツールを見つけましょう

<http://bit.ly/RDAthing18>

データレポジトリ

利用者がデータセットを公開、および保管できるように、多くの図書館が機関レポジトリを提供しています。また、研究者が他の特定の資金提供者や専門分野、その他のドメインに関する適当なレポジトリを探す手伝いをしています

19. **re3data.org** の研究データレポジトリのレジストリーを検索して、適当なレポジトリを見つけましょう

<http://bit.ly/RDAthing19>

20. **Figshare**、**Zenodo**、**Open Science Framework**、や **DataVerse** などの無料のオンラインデータレポジトリを用いて、早速データを公開し、共有しましょう

実践コミュニティ

図書館員はソリューションを開発し、研究データに関する成功事例を共有するために、他の図書館員や、研究者、技術者、資金提供者や出版社、及びその他の人々から成り立つより大きなコミュニティと連携しています

21. 連邦政府レベルでの研究データ管理のコミュニティ形成に対するアプローチの例は、**Australian National Data Service** で見ることができます

<http://bit.ly/RDAthing21>

22. 研究データにまつわる諸問題に取り組んでおり、図書館員も関係する年次学会に、**デジタルキュレーション国際会議 (IDCC)**、研究データのアクセスと保存サミット (**RDAP**)、**IASSIST** (International Association for Social Science Information Service and Technology)、及び研究データ同盟 (**RDA**) があります

23. **研究データ同盟 (RDA)** へ加盟しましょう!

データシェアリングを可能にするために、社会的、技術的架け橋を築く国際的コミュニティに所属しましょう。ウェブサイトから無料で加盟できます。そして、**研究データの図書館・インタレストグループ**をご購読ください

<http://bit.ly/RDAthing23>

コンタクト

マイケル・ウィット

RDA 研究データの図書館インタレストグループ共同議長

米国パデュー大学図書館学准教授

E-mail: mwitt@purdue.edu

